照明器具使用についての安全上のご注意

警 告



火災のおそれがあります

- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。



感電・火災のおそれがあります

● 異常時(煙が出たり、変な臭いがする等)には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店に ご相談下さい。

感電のおそれがあります

● ランプの交換や器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

注 意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電・火災の原因となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因** となることがあります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。 器具落下の原因となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は**定期的に(6ケ月程度)保守点検**をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。

お願い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

ペンダント

ルイスポールセン ジャパン 株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木 5-17-1 アクシスビル 3 F TEL 03-3586-5341 FAX 03-3586-0478

※取付方法等、技術的内容に関してのお問い合わせ先

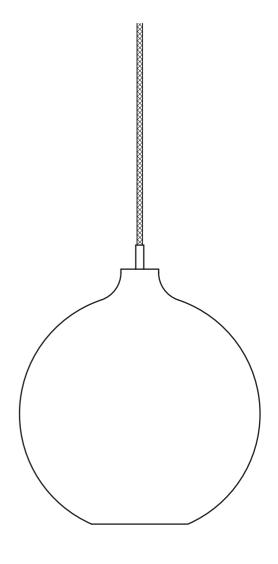
TEL 048-969-5288

平日 10:00~12:00 13:00~18:00 (土・日・祝日休み)

ウォラート

取扱い説明書

- ○この度は、ルイスポール センの照明器具をお買い 上げくださいまして誠に ありがとうございます。 ご使用の前にこの取扱説 明書をよくご覧のうえ、 正しくご使用ください。
- ○電源の工事は専門の電気 工事店におまかせくださ い。一般の方の工事は法 律で禁止されています。
- ○万一破損したり、異常を 感じた場合は、速やかに 電源を切りお買い求めの 販売店にご相談ください。
- ○電気工事店の方へ: 取付け工事が済みました ら、この説明書を必ずお 客様にお渡しください。
- ○お客様へ:この説明書は必ず保管してください。
- ○本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。



ガラス製のグローブについて

上質でここちよい光を得るために、これらのグローブは職人の手作りによる三層吹きガラスです。ガラスの厚みや質量は個々に異なり、多少傾きが生じることがあります。また、ガラスに気泡が入っている場合もあります。

LED電球の保証期間:

同梱ランプがLED電球の場合、ルイスポールセンジャパンの電球保証期間は製品ご購入日から1年間です。

デザイン: ヴィルヘルム・ウォラート

18/03



ルイスポールセン ジャパン 株式会社

定格•仕様

φ300タイプ

電源電圧:交流 100V 適合ランプ:

- ・LED電球(ホームページをご覧ください)※
- ・白熱電球 ホワイト 100W
- ・電球形ハロゲンランプ ホワイト 60W形 45W
- ※LED電球の技術は常時改新されています。 製品デザイン特性が十分に得られる、当社推奨のランプをお使いください。
- ホームページ:www.louispoulsen.com
- ※LED電球の調光対応については、 LED電球の取扱説明書や注意書 に従ってください。

同梱ランプ:

·LED電球

ソケット: E26 寸 法: 高 350mm 質 量: 2.6kg

φ350・400タイプ

電源電圧:交流 100V

適合ランプ:

- ・白熱電球 ホワイト 200W・電球形ハロゲンランプ ホワイト 60W形 45W同梱ランプ:
- ・白熱電球 ホワイト 200W

ソケット: E26

法: φ350 高 400mm φ400 高 450mm 量: φ350 3kg

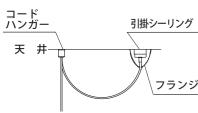
 φ 400 4.5kg

材質・仕上: グローブ … ガラス 乳白色

※ガラスは手作り品のため質量が 異なったり、多少傾きが生じる ことがあります。

コードハンガーの使い方と取り付け方

灯具の吊下げ位置は、コードハン ガーを使い調整してください。

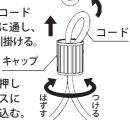


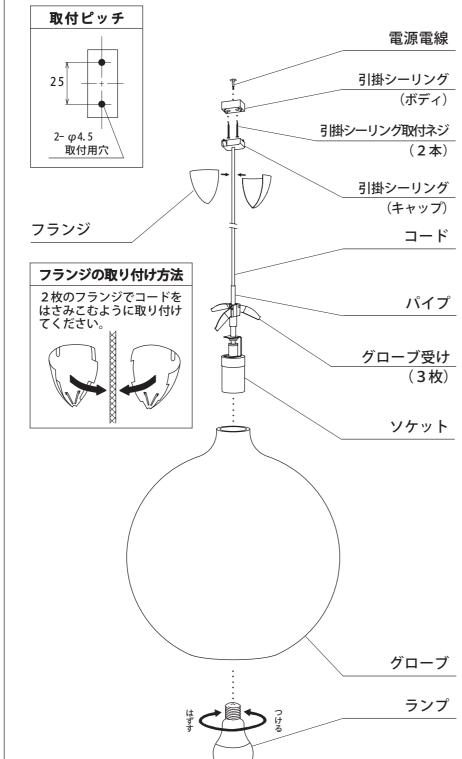
 ベースからキャップ をはずす。



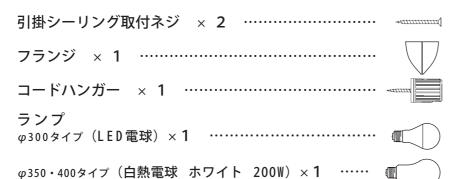
③折り曲げたコード をキャップに通し、 ヒートンに引掛ける。

④キャップを押し 上げ、ベースに 確実にねじ込む。





付属品



傾斜天井に取り付ける場合

付属のコードハンガーを使用すれば45度までの傾斜天井に取り付けることができます。

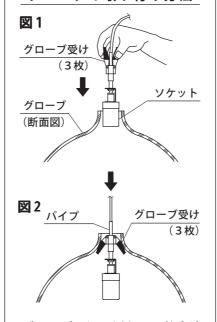


必ずヒートンの開口部が上を向くように取り付けてください。

∱注意

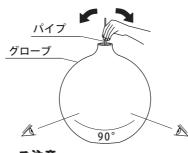
コードハンガーの取り付けは天井の 補強材のある位置に行ってください。

グローブの取り付け方法



グローブの傾き緩和の調整方法

• 90 度異なる2 方向から目視しながら、グローブが水平になるように グローブ上部のパイプを前後左右に傾けて調整してください。 (下図参照)



取付順序

本器具を取り付ける前に部品の不足やキズ、破損がないことを確認のうえお取り付けください。

↑ 警告 工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。

▲ 警告 ランプを取り付ける際には、必ず電源を切ってください。

査 電源電線の接続は取扱説明書にしたがい正しく接続してください。接続に不備があると、接続不良による発熱、火災の原因となります。

★警告 器具の取り付けは取扱説明書にしたがい正しく取り付けてください。 取り付けに不備があると、器具の落下、感電、ケガの原因となります。

↑ 警告 器具の取り付けは、取り付ける天井の強度を確認し、質量に耐える所に 確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてか ら取り付けてください。

⚠ 注意 取り付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。

↑ **注意** グローブ、ランプの着脱は、両手で静かに扱い、取り付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。

- ※天井面に下図の引掛シーリング(ボディ)が付いている場合は、そのままお客様が お取り付けできます。
- ※丸型引掛シーリング(ボディ)には標準よりも厚みのあるものがあります。 それにフランジを取り付けると天井面から多少浮いてしまうこともありますが、 ご了承ください。







埋込引掛シーリング

角型引掛シーリング

-電源電線を引掛シーリング(ボディ)に接続し、引掛シーリング取付ネジ(2本)で天井 に取り付けてください。

★ 警告 引掛シーリング(ボディ)の取り付けは専門の電気工事店に依頼してください。

• 引掛シーリング(キャップ)の2本の 引掛刃を引掛シーリング(ボディ)に 挿入し、カチッと音がするまで右に まわしてください。 (右図参照)

引掛シーリング(キャップ)のはずしかた

ボタンを押し、そのまま左方向へまわしてください。

3 フランジを取り付けてください。フランジは引掛シーリングがかくれるように押し上げ天井に密着させてください。

フランジは分割した状態で梱包されています。取り付けの際は、コードをはさ み込みながら合わせてください。

4 グローブを取り付けてください。

- グローブ受け(3枚)を上に倒し、押さえたままグローブに入れてください。 (図1参照)
- グローブ受け(3枚)をグローブの中で下に倒し、その上にグローブをのせて ください。 (図2参照)

↑ 注意 グローブ受け(3枚)がグローブの中で確実に下に倒れたことを確認してください。 取り付けに不備があると落下の原因となります。

グローブの傾きを調節してください。

5
パイプを手で押さえ、グローブ下部の穴から
ソケットにランプをねじ込んでください。
(右図参照)

▲ 警告 器具及び取扱説明書に表示されている
適合ランプ以外は、使用しないでくだ
さい。
火災の原因となることがあります。